



花崎北小学校だより

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」

令和7年度
2月号
児童数227名

「言葉を通して自分の考えを深め、豊かに表現できる児童」

花崎北小学校長 刑部 香織

早いもので、令和8年がスタートして一ヶ月が過ぎようとしています。今季最大の寒波の報道等がある中、1月28日（水）に研究発表会を行います。本校では、令和6、7年度の2年間にわたり、加須市教育委員会及び加須市教育研究会から「学習指導の改善」の研究委嘱をいただき、「国語力を身に付けた児童の育成～自分の考えを深め、豊かに表現できる児童を目指して～」を研究主題とし、国語科の授業の工夫・改善に取り組んできました。

AI技術の発展とグローバル化が加速し情報があふれる現代社会において、複雑な課題に対して自ら考えを深め、他者と協働しながら解決へと導く力が、これまで以上に強く求められています。この力の基盤となるのが、言葉を正確に理解し、適切に使いこなす「国語力」です。本校の国語について各種学力調査を分析すると、知識・技能については県との差は大きくなく、無回答率も低いことから、基礎的な理解は一定程度身に付いていることが分かりました。一方で、思考・判断・表現の領域では正答率が低く、無回答率が高い傾向が見られました。これは、知識を「使って」考え、根拠を押さえ、条件に合わせてまとめ、表現する力の育成が、本校の大きな課題であることを示しています。

社会的背景と、本校の課題を解決するため、本研究では、すべての学習の基盤となる「国語力を身に付けた児童の育成」を目指すこととし、特に、「考えを深める力」と「豊かに表現する力」を重点的に育成することを目指して、研究を進めました。

国語力を身に付けた児童＝言葉を通して自分の考えを深め、豊かに表現できる児童



「表現する力」の育成

伝えたい相手や目的に合わせ、根拠（理由）を明確にして表現する力を育てる。話す・書く・演じる・発表するなどの多様な表現方法を取り入れ、他者との関わりの中で自分の表現を磨く。

「考え・深める力」の育成

習得した語彙を生かし、文章を的確に読み取り、筆者の考えや意図を捉えながら、自分の考えを形成する学習過程を重視する。そして、伝え合いや学び合いを通して、自分の考えを深められるようにする。

「思考の基盤」の構築

語彙を豊かにする学習活動を通して、言葉に対する関心と理解を深める。児童が多様な語彙に出会い、意味や使い方の違いを理解することで、思考の基盤を築く。

この取組により、言葉を吟味し、自分の言葉で考えを相手に伝えようとする児童が増え、「自らの言葉で伝えたい」という思いをもって学習に向かう態度の育成につながりました。今後も、言葉を通して思考を深め、他者とつながり、よりよく生きるための国語力を身に付けた児童の育成を継続していきたいと考えています。

「語彙の量」
を増やすための場



「ねじれる」に合う写真は…